

第2回 会員企業分科会開催

2019年8月20日。会員企業様の「禁煙推進」に関する情報共有と議論の場として第2回会員企業分科会を開催いたしました。

当日は15社の企業・団体より20名にお集まりいただき
ロート製薬株式会社様の事例発表と質疑応答により
情報交換と交流をさせていただきました。

【ご参加企業】

アフラック生命保険株式会社／イトーキ株式会社／株式会社MTG／株式会社オートバックスセブン／オムロンヘルスケア株式会社／協和発酵キリン株式会社／医療法人社団 ころとからの元気プラザ／株式会社資生堂／ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ／株式会社ダイナム／公益財団法人 日本対がん協会／ファイザー株式会社／ミサワホーム株式会社／株式会社メディヴァ／ロート製薬株式会社

ロート製薬株式会社様の事例発表と質疑応答



会場：ロート製薬株式会社

第2回 会員企業分科会開催

ロート製薬株式会社様の禁煙推進取り組みの発表



今回の分科会は、ロート製薬株式会社様のご協力のもと、会場をご提供いただき、人事総務部健康経営グループの西脇純子様により禁煙推進の取り組みに関して発表いただきました。発表では、取り組みの歴史から、体制作りや施策、コミュニケーションの方法、今後の課題と目標など、ノウハウをご紹介いただきました。また、テレビのワールドビジネスサテライトでもご紹介された、施策のひとつである、卒煙ダービーについても詳細をご説明いただきました。

質問が飛び交う質疑応答タイム



当コンソーシアムの会員様は、禁煙推進に関する情報を収集し、自社の取り組みの参考にされたいと考え、熱意をもって分科会に参加されています。質疑応答に際しても、自社の施策にどのように活かせるかを考えながら、詳細な質問を積極的にされました。

会員様によっては禁煙推進のフェーズが異なります。推進をスタートしたばかりの企業、既に取り組みが進んでいる企業様もいらっしゃいます。

取り組みのフェーズが異なるなか、全会員様が興味をもたれ熱心に聞かれていたのは、禁煙を推進するにあたり、どのように社内に告知し、喫煙者に理解をしてもらったのかという点でした。情報共有や交流を通じて、禁煙推進担当者が抱える悩みを分かち合える場となりました。



日本対がん協会からのお知らせ

日本対がん協会の望月先生より、10月に東京で開催される、タバコ病予防のための国際学会(The International Society for the Prevention of Tobacco Induced Disease)のお知らせがありました。